

# 東海大学大学院 2022年度 家族看護研究会



家族看護学研究室では家族看護を  
様々な理論やツールを用いて分析しています。  
今回は在宅療養の事例について検討していきます。

## 事例紹介

A氏 ALSの50代前半女性。在宅療養中で日常的に人工呼吸器装着している。病状が進行し常時痰吸引が必要な状態である。在宅療養を続けてほしい家族と在宅療養の限界を感じる医療者の間で、本人の意思決定が難しいなか、今後の療養場所選択を巡り家族と医療者の意見が対立している。医療者としてどのような支援ができるだろうか。



プロフィール：小泉織絵先生（家族支援専門看護師）  
東海大学医療技術短期大学卒業後、東海大学医学部附属病院に入職。東海大学大学院で家族看護学を専攻し、家族支援専門看護師を取得。2020年から東海大学医学部看護学科助教となり、各地で家族看護教育の普及に努めている。

【日付】 2022年11月12日 土曜日  
【時間】 13：00～16：00  
【会場】 zoomによるオンライン開催



参加ご希望の方は右上QRコードよりお申し込みください

問合せ先：0463-93-1121（代表） 家族看護学研究室 担当:井上  
ホームページ： <http://kazokuns.ih.s.u-tokai.ac.jp>  
メールアドレス： [rinoue@is.icc.u-tokai.ac.jp](mailto:rinoue@is.icc.u-tokai.ac.jp)